

トラック輸送状況の実態調査 結果概要一覧表

平成28年2月版

■調査概要 < 調査期間 平成27年9月14日（月）～20日（日）の7日間 >

有効回答数	全 国	（ 山 口 県 ）
運送事業者	1,252 社	（ 21 社 ）
ドライバー	5,029 名（うち女性 62 名）	（82 名（うち女性 1 名））

項 目	全 国	山 口 県
1. 回答ドライバーの概要	・車種は大型が 57.7% ・年齢は 30～59 歳が中心である。 総務省「労働力調査」の道路貨物運送業の雇用者数の年齢分布と同傾向。 ・1 運行の走行距離は短・中距離運行（走行距離 500km 以下）が 85.1%を占める。<u>平均は 297 km。</u>	・車種は大型が 59.5% ・年齢は 30 歳～59 歳が中心である。 ・1 運行の走行距離は短・中距離運行（走行距離 500km 以下）が 85.9%を占める。<u>平均は 276 km。</u>
2. 回答事業者の概要	・保有台数 21～50 台が最多。 次いで 51～100 台、平均は 57.8 台。	・保有台数 51～100 台が最多。 次いで 21～50 台、平均は 40.8 台。
3. ドライバー拘束時間の概要	・「手待ち時間がある運行」は全体の 46.0% ・手待ち時間の平均は <u>1 時間 45 分</u> 「手待ち時間がない運行」と比べて拘束時間が長くなっている <u>（1 時間 53 分）</u> ・短・中距離運行の平均拘束時間が 11 時間台であるのに対し、長距離運行の平均拘束時間は 16 時間を超えている。 ・輸送品目別では「<u>農水産品</u>」や「特殊品」で長くなっている。 地域別では「九州」で長い。 ・手待ち時間は、「関東」、「近畿」、「中部」で長い。	・「手待ち時間がある運行」は全体の 35.8% ・手待ち時間の平均は <u>1 時間 26 分</u> 「手待ち時間がない運行」と比べて拘束時間が長くなっている <u>（1 時間 01 分）</u> ・短・中距離運行の平均拘束時間が 10 時間台であるのに対し、<u>長距離運行の平均拘束時間は 14 時間を超えている。</u> ・輸送品目別では「排出物」や「<u>農水産品</u>」で長くなっている。

項 目	全 国	山 口 県
4. ドライバーの拘束時間等の分析	① ・ 1 運行の拘束時間が 13 時間を超える運行が全体の 36.6%、16 時間を超える運行が全体の <u>13.0%</u> がある。 ・ <u>16 時間超</u>の割合は、「大型」、「長距離」、「<u>農水産品</u>」、「九州」で高くなっている。 ・ 休息期間 8 時間未満の運行が全体で <u>15.8%</u> 「大型」の割合が高くなっている。 ・ 調査日 7 日間のうち「休日がなかった」ドライバーが、<u>全体の 9.8%</u> 「大型」の割合が高くなっている。 ・ <u>連続運転時間 4 時間超の運行が全体で 10.7%</u> 「大型」、「長距離」、「農水産品」、「九州」の割合が高くなっている。 ② ・ 拘束時間は、高速道路利用割合が高い運行の方が短い。 ・ 手待ち時間がある運行での手待ち時間は、1 運行あたり平均 1 時間 45 分、（うち 1 時間超が 55.1% 2 時間超が 28.7%、3 時間超が 15.1%） ・ 手待ち 1 回あたりの待ち時間は、平均 1 時間 09 分（1 時間超が 35.0%、2 時間超が 13.8%、3 時間超が 6.2%） ・ 手待ち時間は<u>発荷主で 1 時間 11 分、着荷主で 1 時間 03 分発生</u> ・ 時間指定がある場合でも、ない場合と同程度の手待ち時間が発生している。	① ・ <u>1 運行の拘束時間が 13 時間を超える運行が全体の 19.8%、16 時間を超える運行が全体の 5.7% がある。</u> ・ <u>16 時間超</u>の割合は、「<u>トレーラ</u>」、「長距離」、「農水産品」で高くなっている。 ・ <u>休息期間 8 時間未満の運行が全体で 10.9%</u> 「トレーラ」の割合が高くなっている。 ・ <u>調査日 7 日間のうち「休日がなかった」ドライバーが、全体の 6.1%</u> 「トレーラ」の割合が高くなっている。 ・ <u>連続運転時間 4 時間超の運行が全体で 10.0%</u> 「中型」、「長距離」、「<u>化学工業品</u>」の割合が高くなっている。 ② ・ 拘束時間は、全国平均でみると高速道路利用割合が高い運行のほうが短い（山口県でも概ね同様の傾向）。 ・ 手待ち時間がある運行での手待ち時間は、1 運行あたり平均 1 時間 26 分、（うち 1 時間超が 49.3%、2 時間超が 20.2%、3 時間超が 8.2%） ・ 手待ち 1 回あたりの待ち時間は、平均 1 時間 01 分（1 時間超が 32.8%、2 時間超が 8.9%、3 時間超が 5.0%） ・ 手待ち時間は<u>発荷主で 49 分、着荷主で 48 分発生</u>。 ・ 時間指定がある場合でも、ない場合と同程度の手待ち時間が発生している。

項 目	全 国	山 口 県
5. 荷役の書面化、荷役料金収受の状況	・ 荷役に関して書面化しているものが 58.2%ある。 一方、事前連絡がなく現場で荷役を依頼されたものが 9.5% ・ 荷役料金を収受ができていないのは、書面化しているもので <u>71.2%</u> 事前に口頭で依頼されたもので 54.0% ・ 事前連絡がなく現場で荷役を依頼されたものは、<u>80.5%</u>が荷役料金を収受できていない。 ・ 荷役料金の収受ができていない品目 「廃棄物」、「鉱石・砂利・砂・石材等の鉱産品」など。	・ 荷役に関して書面化しているものが 69.7%ある。 一方、事前連絡がなく現場で荷役を依頼されたものが <u>11.1%</u> ・ 荷役料金を収受ができていないのは、書面化しているもので <u>81.7%</u> 事前に口頭で依頼されたもので <u>64.0%</u> ・ 事前連絡がなく現場で荷役を依頼されたものは、<u>100.0%</u>が荷役料金を収受できていない。 ・ 荷役料金の収受ができていない品目 「金属部品・金属加工品（半製品）」、「米・麦・穀物」など。
6. 荷役、付帯作業の発生状況	・ 荷役作業の発生割合 発荷主で 40.8%、着荷主で 59.2% ・ 荷役作業の平均時間 発荷主で 51 分、着荷主で 42 分。 ・ その他付帯作業は、「検品」、「保管場所までの横持ち運搬」、「商品仕分け」が多い。 割合の高い品目は、付帯作業により差異がみられる。	・ 荷役作業の発生割合 発荷主で 41.9%、着荷主で 58.1% ・ 荷役作業の平均時間 発荷主で 40 分、着荷主で 39 分。 ・ その他付帯作業は、「検品」、「保管場所までの横持ち運搬」、「商品仕分け」が多い。 割合の高い品目は、「精密機械・生産用機械・業務用機械」、「加工食品」など
7. 事業者調査結果	・ ドライバーの拘束時間、労働時間、運転時間等全ての時間について、「泊付き輸送」の方が長い傾向にある。 ・ ドライバーは全体の <u>68.8%で不足</u>している。 保有車両台数が多い事業者ほど不足感が強い。 ・ 不足している場合の対応 「下請・傭車で対応」が最も多いが、「対応できず輸送を断っている」ケースも半数近くの事業者で生じている。	・ ドライバーの拘束時間、労働時間、運転時間等の時間について、「泊付き輸送」の方が長い傾向にある。 ・ ドライバーは全体の <u>81.0%で不足</u>している。 保有車両台数による不足感に明確な傾向はみられない。 ・ 不足している場合の対応 「事務職・管理職で対応」、「下請・傭車で対応」が 47.1%と最も多いが、「対応できず輸送を断っている」ケースも同じく 47.1%の事業者で生じている。

